

すみだ区議会

# 自由民主党会派報

発行  
 墨田区議会自由民主党  
 墨田区吾妻橋1-23-20  
 発行責任者 沖山 仁  
<http://jimin-sumida.jp/>  
 墨田区議会自由民主党のホームページを  
 リニューアル致しました。  
 ご意見・ご要望をお待ちしております。

## 平成21年度決算特別委員会において、 我が会派は、一般会計歳入歳出決算を 不認定といたしました。

### <主な理由>

- ◎押上駅前に建設される駐輪場上階に「環境ふれあい館」の合築を予定し、建築実施設計経費(決算額約2160万円)を執行したが、2階建ての駐輪場のみに変更となったこと、また、土地についても不明確である。
- ◎「東武伊勢崎線(2号踏切)立体化検討経費(決算額約3900万円)」については、その成果、見通しがはっきりせず、実現への意気込みが感じられない。
- ◎各種事業の検討経費が計上されているが、その成果、結果が不透明である。また、職員の資質向上のため、外部発注に頼らず、内部検討を増やすべきである。

以上により、私ども会派は、7日間にわたる真剣な質疑を通して、区政史上初めての決断を致しました。

今後とも、区民の目線に立ち、責任を持って区行政のチェックをしてまいります。

二面に、我が会派の、決算に対する意見を掲載しました。



▲会派を代表して意見を述べる福田はるみ委員

墨田区議会  
自由民主党  
会派議員



瀧澤良仁



西原文隆



中村光雄



坂下 修



木内 清



出羽邦夫



田中邦友



沖山 仁



林 つねお



樋口敏郎



山本とおる



福田はるみ



あそうあきこ

# 一般会計歳入歳出決算は不認定、4つの特別会計は認定

## 平成21年度 決算特別委員会

(10月22日～11月4日)

◆委員長 坂下 修

◆委員 あそつあきこ、福田はるみ、山本とおる、

沖山仁、西原文隆

我が会派を代表し福田はるみ議員が、平成21年度の一般会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計・老人保健医療特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計の歳入歳出決算に対する意見を述べ、一般会計歳入歳出決算に対しては不認定、他の四案件に対しては認定を表明しました。

### 21年度決算についての

#### 意見開陳(概要)

墨田区議会自由民主党

福田 はるみ



平成21年度決算は、財政力指数〇・三八、実質収支比率五・八％、経常収支比率九〇・二％、公債費比率五・五％で、六年連続の黒字決算となりました。しかし、財政健全化法に基づき健全化判断比率は、健全段階にはあったものの各数値とも23区との比較では著しく低い状態になっており、また、歳入における特別区交付金の交付額が前年より四十八億円

強固な財政基盤が築けるのか危惧しているところであります。

この様な状況のもとで、七日間にわたり熱心な質疑が交わされましたが、まず、環境ふれあい館整備事業費、屋内プール跡地の検討経費、ブレ観光プラザ整備事業費などについての我が会派の質問に対する理事者側の答弁には見解の相違があり、会派としては、区の認識が甘く、同じことを繰り返すことは容認できません。質疑の内容について改めて指摘させていただきます。

▼環境ふれあい館の問題については、実質無駄使いであったことを区長自らが認められた。

▼東武伊勢崎線2号踏切の解消については、検討経費をかけた成果が全く認められず、行政のやる気、スピード感を持って実現するという意欲が感じられない。

▼区の人口が25万人を超えたことで、職員のスキルアップがますます重要になってきた。コンサルタント等に安易に任せるのではなく、職員

の能力を発揮させるべきだ。  
▼新タワー建設の進捗によって区内外の関心が高まる中、区が主導で行う観光プラザ、すみだ北斎美術館建

設、押上駅前駐輪場、道路整備等のハード面は、現状では財政面を含め極めて厳しいといわざるを得ない。

▼また、来街者が区内を本当に回遊してくるよう、区の準備すべきソフト面を、絵に描いた餅にすることなく着実に推進することが大事だ。

▼区内の商業活性化すみだプログラムを確実に機能させ、区内商業の発展が実感できるような取り組み、また、商店街連合会が法人化を果たし自立できるようサポートしていくこと、スタンブ事業IT化導入店舗数の目標達成に向け、更に真剣に取り組みこと。

▼学校跡地の有効活用については、曳舟中学校跡地への大学誘致早期実現、鐘淵中学校跡地の陸上競技場など、我が会派が繰り返し主張している整備計画策定の方針を明確に打ち出すこと。

▼高齢者施策については、安心・安全に暮らしていけるよう、見守り等の施策を充実していくこと。特別養護老人ホームの整備にあたっては、直ちに新たな事業者を積極的に募り、待機者の減少に取り組みこと。

▼我が会派の最重要点である保育園待機児解消については、23年4月には待機児ゼロになるよう強い決意と一層の努力をすること。

▼障害者の移動支援・学童などの居場所づくり・ヘルパー不足解消と事業者への指導など、障害者にやさしい柔軟性をもった対応を強く求める。

▼教育については、墨田区らしい墨田区ならではの独自の教育を実践すべく、教育委員会が一丸となって取り組んでいくこと。  
以上のような質疑・要望に対し、理事者側の答弁はわかりにくく、訂

正や誤りも数多く見受けられました。緊張感を持ち墨田区の発展につながる議論ができるよう改善すべきだと思います。また、予算の執行実績報告書の誤りが我が会派委員の指摘により判明したり、議会に報告すべき重要な事項を、指摘された後で提出するようなこともありましたが、このようなことはあってはならないことでもあります。我が会派の提案や指摘については真摯に受け止められ、今後の区政運営に十分反映されるよう強く求めます。

以上により、この度の決算特別委員会に提出された平成21年度墨田区一般会計歳入歳出決算については認定することはできません。

なお、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、老人保健医療特別会計歳入歳出決算、介護保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算については認定を表明し、意見開陳いたします。



▲左から木内議長・坂下委員長・有田事務局長

## 区長コメント

墨田区長

山崎 昇

ただ今、一般会計については不認定、四つの特別会計については認定の決定を頂いたが、改めて、私どもの判断が適切でなかったと重く受け止めるとともに、深くお詫び申し上げます。今後は、様々な状況変化を的確に把握し、一段と計画性を持った事業執行に努めていきたいと存じます。また、本委員会を通して承ったご意見やご提案については、今後の区政運営に十分反映してまいりますと存じますので、区議会の皆様、これまで以上のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



▲決算特別委員会で答弁する山崎区長